2026年11月13日

各　　位

会社名　トレンダーズ株式会社
代表者名　代表取締役社長　黒川　涼子
（コード番号　6069　東証グロース）
問合せ先　取締役　ＣＦＯ　田中　隼人
ＴＥＬ　０３（５７７４）８８７６

2027年３月期 第２四半期決算における想定質問と回答

当社は、2027年３月期第２四半期決算において想定されるご質問とその回答を、下記のとおり開示いたします。

Q1. 第２四半期（７－９月）の業績の総括は？

2027年３月期第２四半期の売上高は2,318百万円（YonY+24.5%）、営業利益は133百万円（YonY▲23.6%）、経常利益は121百万円（YonY▲40.6%）、親会社株主に帰属する当期純利益は57百万円（YonY+762.1%）となりました。

事業ごとの詳細は以下のとおりです。

【マーケティング事業】

マーケティング事業の売上高は2,043百万円（YonY+11.7%）、売上総利益は933百万円（YonY+1.2%）、営業利益は263百万円（YonY+40.2%）となりました。

インフルエンサーマーケティングの粗利は316百万円（YonY▲6.9%）、MimiBeautyの粗利は364百万円（YonY▲5.5%）と前年同期を下回る結果となったものの、イベント領域がYonYで売上高+80.8%、粗利+36.9%と大幅に成長したことにより、増収、売上総利益増益での着地となりました。

販売費及び一般管理費については、積極的なコストの見直しやAIを活用した人員生産性の向上等の効率化を進めたことにより、YonY▲7.6%と減少しました。

以上の結果、マーケティング事業の営業利益はYonY+40.2%となりました。

【インベストメント事業】

インベストメント事業の売上高は35百万円（YonY+9.6%）、売上総利益は35百万円（YonY+9.3%）、営業利益は34百万円（YonY+9.4%）となりました。

社債の受取利息の増加により、増収増益となりました。

【ECコンサルティング事業】

（前提）

本事業セグメントは、2025年12月にしるし株式会社を完全子会社化し、当社グループとして事業を

開始したことに伴って開示を始めたものであるため、YonY の記載をしておりません。

EC コンサルティング事業の売上高は 238 百万円、売上総利益は 125 百万円、営業利益は▲122 百万円となりました。

季節性に加え、複数の新規顧客との取引開始時期の遅れや一部顧客の在庫不足、大型顧客との契約終了等により QonQ で減収減益、予算に対しても未達の着地になりました。

一方で、足元では営業活動が順調に進捗し、大型顧客との取引も開始するなど好調に推移していることから、今後は業績が回復し、再成長していく見込みです。のれん償却後の営業黒字化に関しては、当期第４四半期、もしくは来期第１四半期となる予定です。

※YonY：前年同期比
※QonQ：前四半期比
※粗利：売上高から売上高に紐づく変動費を差し引いた限界利益

Q2. 2027 年３月期の通期業績予想に対する進捗は？

2027 年３月期の連結業績は、売上高 9,500 百万円、営業利益 900 百万円、経常利益 810 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益 450 百万円と予想しており、第２四半期終了時点では、売上高の進捗率は 49.9%、営業利益は 25.0%、経常利益は 24.8%、親会社株主に帰属する当期純利益は 19.8%となっております。

売上高は、イベント領域が好調なことにより期初計画を上回って進捗しております。

各段階利益については、EC コンサルティング事業の予算未達により進捗率は低いものの、下半期のマーケティング事業、EC コンサルティング事業の成長による粗利増加と、コスト削減により通期での達成を目指してまいります。

Q3. しるし社の PMI の状況は？

2025 年 12 月に完全子会社化した EC モールに特化した戦略コンサルティング・運用代行サービスを手掛けるしるし株式会社について、M&A の成立から約１年が経過しましたが、管理部門の統合、将来の成長に備えた人員強化は完了し、現在は AI 導入による業務効率化等を推進するなど、順調に進捗しております。

しるし社が属する EC コンサルティング事業は、上半期においては営業損失を計上しておりますが、顧客候補企業からの引き合いが非常に強く、既に将来的に大型顧客となり得る新規顧客との契約は開始し、その他複数の新規顧客候補企業との商談も順調に進捗していることから、中長期的な強い成長トレンドの想定に変更はございません。

Q4. アイスタイル社との資本業務提携発表後の進捗はどうか？

2024 年２月に資本業務提携を開示しましたアイスタイル社との協業については、化粧品の商品情報とそれに紐づくユーザーのクチコミ情報を中心とする韓国最大級のビューティプラットフォーム「GLOWPICK」を韓国国内で運営するアイスタイル韓国子会社の Glowdayz 社との協業を 2024 年８月より開始し、2026 年９月末までの韓国コスメブランドからの累計受注額は約２億円となりました。

また、当社の既存取引ブランドに対して、アイスタイル社の広告メニューの営業活動を行い、2024 年３月から 2026 年９月の累計で約 7.4 億円を販売するなど、提携による効果が発現してきております。

さらに、2026 年 11 月にはアイスタイル社が主催する「Tokyo Beauty Week 2026」に当社が共催企業として参画し、「@cosme OSAKA」では当社が発刊する美容雑誌『AKANE MAGAZINE』の世界観を再現した特設棚を期間限定で展開するなど、多方面での事業連携が実現しております。

※資本業務提携の詳細は、2024 年２月 14 日開示の適時開示資料をご参照ください
https://www.trenders.co.jp/ir/wp-content/uploads/sites/2/2024/02/20240214-5.pdf

以上

【免責事項】
本資料は、トレンダーズ株式会社（以下「当社」といいます）の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他有価証券の勧誘を構成するものではありません。本資料には、当社の計画や戦略、業績の見通し等、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述には、別段の記載がない限り本資料の発表日現在における当社が入手可能な情報並びに当社の計画及び見込みに基づいた当社の想定、将来の見通し及び推測が含まれますが、これらが達成される保証はありません。経済状況の変化、顧客企業の嗜好及びニーズの変化、他社との競合、法規制の変化環境、その他の様々な要因により、将来の予測・見通しに関する記述は実際の業績と大幅に異なる場合があります。したがって、これらの将来に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。また、独立した公認会計士または監査法人による監査またはレビューを受けていない、過去の財務諸表または計算書類に基づく財務情報及び財務諸表または計算書類に基づかない管理数値が含まれていることをご了承ください。当社は、適用ある法令又は証券取引所の規則により要求される場合を除き、本資料に含まれるいかなる情報についても、今後生じる事象に基づき更新又は改訂する義務を負うものではありません。本資料には、当社が事業を行っている市場に関する情報を含む、外部の情報源に由来し又はそれに基づく情報が記述されています。これらの記述は、本資料に引用されている外部の情報源から得られた統計その他の情報に基づいており、それらの情報については当社は独自に検証を行っておらず、その正確性又は完全性を保証することはできません。